神樹の会会報

No. 30
平成 5 年 7 月 16 日
発行所：神 樹 の 会
発行人：水 野 整 一

（事業所）
本部事務所（六甲作業所内）
〒657 神戸市灘区備後町３丁目２番22号 ☎821-1533
六甲作業所、東部デイサービス
〒657 神戸市灘区備後町３丁目２番22号 ☎821-1533
明芳デイサービス
〒654 神戸市須磨区大田町６丁目４－４ ☎735-8835
垂水作業所
〒655 神戸市垂水区星陵台４丁目４番45号 ☎782-9675
福祉の店“いたやど”
〒654 神戸市須磨区大黒町２丁目２－12 ☎733-2477

共に生きる社会を願って

輪をひろげよう

LIVING TOGETHER

第二十二回 総会開かれる

平成五年度神樹の会総会が去る六月十三日午後一時三十分より十名の来賓の出席をいただき神戸市勤労会館で開かれました。各報告事項や予算案、新年度役員改選の後意見交換の時がもたれ、アンケート集計から「療護施設建設」への会員の共通理解を得ることができました。四人の方々から上記、下記のようなご挨拶を頂きました。

出席 99名
委任状 570名
計669名
会員総数 930名

▲ 総会の様子

▲ 南原富広様のごあいさつ

平成５年度 重点目標

1．会員相互の絆を強め
　ノーマライゼーションの輪を広げよう

2．身体障害児（者）の進路保障
　① デイサービス事業の拡充・確保
　② 療護施設の早期実現

3．バザー活動の発展と充実

生きていてよかったと思える街づくりを

神戸市福祉十か年計画に夢を…

神戸市会民生保健委員会委員長　南原　富広

共に生きる社会を、そしてぬくもり、やさしさを作り上げる市政をめざしている。福祉十か年計画ということで小規模作業所を二十か所用意するよう市に迫っているが厳しい状況である。助成、指導員の待遇なども引き上げる努力をしている。卒業後デイサービスに行く人のためにもその場の増設をしつつある。毎日型の通所施設に通えて、生きていてよかったと思える社会作りのために頑張っていきたい。六月二十一日から七月二十日まで住宅改造のモデル事業がある。六十五才以上の老人、又障害者を抱えている家庭に五十万円までの助成を行う。障害者が喜んで皆と活動できる社会をと願っている。そのために市民のお力添えを是非お願いします。

十か年計画にそって

神戸市民生局心身障害福祉室長　坂本　大祐

十か年計画の中で五年度は東部在宅福祉センターを設立し公設民営の第一号として発足しました。又、中部在宅福祉センター、キャナルタウンの起工式が十五日に行われます。西部在宅福祉センターも計画中です。来年四月には新総合福祉センター（スポーツセンター、体育館が含まれた）の建設を進めています。視覚障害者のために役所の公文書に点字シールを添付、そして聴覚障害者にふれあいファックスを、各福祉事務所、しあわせの村等にセットしています。八月より重度の方々に介護人派遣制度を実施していく予定です。またリフト付きタクシーの増大も計っていきたい。皆様の協力をお願いし行政の発展に力をつくしていきたいと思っています。

前進を願って

神樹の会会長　水野　整一

神樹の会では、十二才以上の会員を対象に初めてのアンケートによる実態調査を行いました。

本会も二十二年目を迎え会員全員が明るく一日一日を大切に前進していきましょう。又、三月には神戸市市民福祉顕彰の奨励賞を頂きました。信頼という財産を基盤に共に生きる社会をつくる輪を広げていきたいと思います。当局に感謝しながら、ぬくもりのある行政へとご協力をお願いいたします。

このゆびと～まれ…

二十才を迎えようとする娘

落町　洋子

多くの人々に出会い、いろいろなことを教わり、励まされて娘も今年二十才を迎えようとしています。何をどうすればよいのかわからず先の人生に思い悩む時でも、今現在何をすべきかを前提にして、子供にとってもプラス思考になるように、いっしょに努力し挑戦してきました。幸いにしてよいめぐりあいを得て今までアドバイスしてきたことが、パソコンという器具によって花が咲いたようです。人生五十才にして子供と共通の話題ができるなんて夢にも思わなかったと父親は感無量です。途中で挫折しそうになったことは幾度もあります。しかしハンディーをもつ子供に少しでも軽くなるようにと手助けをし励ましながら共に乗りきってきました。

これからもいつも心を一つにして時間と戦いながら未来に向かって新たなる挑戦をし目標に向かって走っていきたいと思います。

デイサービスではいい皆様方にめぐまれて感謝一杯です。この頃はおしゃれにも関心をもちぐんと大人っぽくなった娘。いつも笑顔を絶やさず皆から好かれる娘でありますように！

（明芳デイサービス　落町智子母親）

会員同志が力を合わせて…

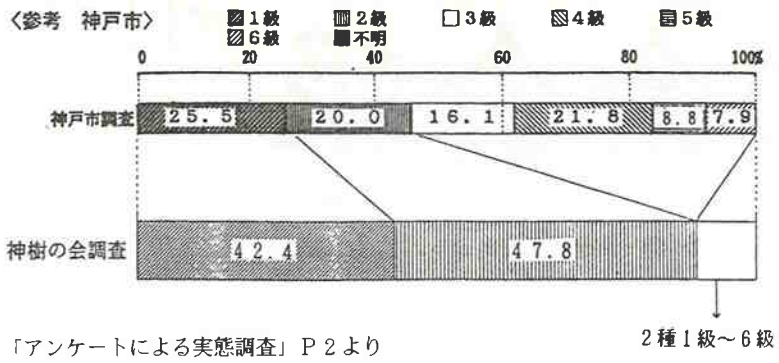
神戸市立垂水養護学校長　原田　由雄

神樹の会には、平素、在校生の職場実習にご協力頂きありがとうございます。現在子供は重度多様化していますが、明るく元気に通っています。今春一般企業に就職が決まった卒業生もあり、後輩にいろいろな道があるのだという夢をもたせることができたのではないかと思っています。

本会が、完全在宅を無くすように努力していることに感謝いたします。両校とも新入生を迎え、今以上に会員同志が力を合わせていくことが大切だと考えています。

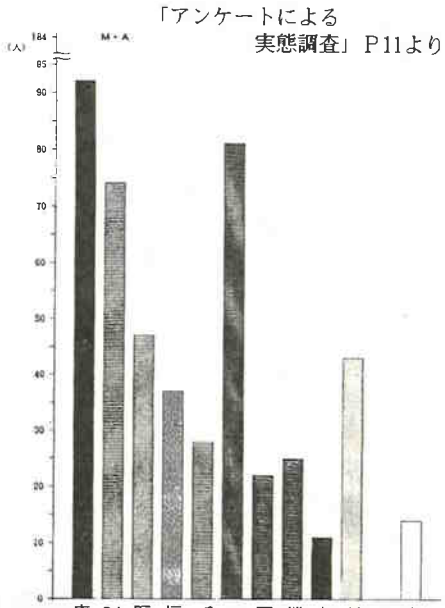
※※※

神樹の会では会員のうち障害のある方の実態とそのニーズを把握し、又、会のこれからの方向付けの参考とするためアンケートを実施しました。十二才以上の障害のある方々四百名に郵送し百八十四名から返事を頂きました。なお平成三年五月に行われた神戸市市民福祉調査委員会による「心身障害者実態調査」の中より必要に応じて掲載させて頂きました。



「アンケートによる実態調査」P2より

神戸市調査と神樹の会のそれとは大きな違いが出ている。上図にあるように神樹の会では障害のある方の約９０％が一種一級と二級になっている。本会が抱える重度の方々の進路の困難さがここに伺える。



「アンケートによる実態調査」P11より

ながらくお待たせいたしました 療護施設建設へ

ショートステイ・一時保護も…

介助をしている方への質問で「不安に感じていること、いちばん気がかりなことは？」の設問に左記のような答えを頂きました。

＊ 親の亡き後の本人の生活が心配。介護を頼む人がいない。
＊ 重症者にとって安心して預けられる重症心身障害者施設がないこと。
＊ 子供はどんどん成長し親の方は体力がなくなる。これからの介護が心配。
＊ 親が又障害者が病気になるのが心配。
＊ 親が病気などで付き添えないとき子供はデイサービスに行けないこと。
＊ 卒業後家庭での介助の負担と孤独が心配。
＊ 卒業後、生きがいと地域の交流がうまくいくかどうか。
＊ 療護施設が地域の中にあればいい。
＊ 卒業後本人の能力に応じた行き場がない。作業所と療護施設の中間的施設がほしい。
＊ 卒業後行きたい施設に入れないことが心配。
＊ 授産施設で介護の受けられるところがないこと。
＊ 就職するところがないこと。
＊ 親子共々の施設或いは設備のあるところで静かに生活できればと思う。
＊ 親なき後の介護を兄弟に強いることはできない。
＊ 親なき後すぐに施設などに受け入れてもらえるかどうかが心配。
＊ 外出、通所にも親が付添い全介助で今は何とか続いているが限界が来る日を思うと不安になる。私の人としての生き方など考える余裕などなく、ただ子供を背に歩く日々が倒れるまで続くと思うと気が遠くなります。子供と共にそれぞれの人生を楽しみながら生活できる方法を見つけていきたい。
＊ 授産施設の定年がいつまでなのか。
＊ 授産施設で働いていて五十才頃になって療護施設に入るとき入所できるかどうかが心配。
＊ 子供が親から離れて安心して暮らせる場所が欲しい。人間らしく生活できる場があれば。
＊ 一人で外出できないこと。

新役員紹介

平成五年度

平成五年度の神樹の会役員がつぎのように決まりました。本年度からあたらしく、多方面から意見をいただくために障害者の代表が幹事の一員として加わりました。

（敬称略）

顧問　石川　敬　原田由雄
相談役　足立梅雄　池田　稔　増田龍昭
長谷川隼彦　山田福松
高内恒夫　岡本　茂
安原　実　望月秀雄
浜本允美
堀川静子
会長　水野整一
名誉会長　牧野一夫
副会長　森山チエ子　宮脇テル子
吉岡佑起子　中野祀子
会計　小野治子　大橋敬子
池田恵子　鎌田鈴子
小泉公子
会計監査　石黒良康　樋口幸美
小林公子
書記　黒田素美子　磯村登三子
大森徳枝　宮崎洋子

事務局
局長　宮脇テル子
庶務　鷲岡了子　前川登美子
幹事
OB　牛村和子　室之園里子
佐伯幸子　抱江みち子
米沢登美子　百道泰子
高木恵子　森山チエ子
丸田広子　本多小夜子
西山静代　山住慶子
水谷崇子　加藤千鶴子
黒田智子　中谷昭代
岡本八重子　森下順子
磯村登三子　岩桐ナツ子
藤井和信
友生　丸山　公　奥野和子
西村美絵子　辻野富貴
澤田鈴子
垂水　長谷照彦　米田　達
山内妙子　堀之内広美
宮家泰子
六甲作業所所長　増田　裕
垂水作業所所長　西垣幸夫
東部デ　所長　谷　良子
明芳デ　所長　西原孚左子
星陵園デ　事務局長　鮫島ミツヱ
福祉の店いたやど　土居美千代
神樹の会訓練教室　高木恵子
池田恵子　黒田素美子

訃報

次の先生方・会員が亡くなられました。残された方々に天よりの慰めがありますようにお祈りいたします。

賛助会員
田中　菊枝先生　元友生養護学校長
岡　實　先生　元垂水養護学校長
会員
高木　陽子
元東部デイサービス事業在籍

平成五年四月～六月に次の方々から寄付を頂きました。感謝してご報告致します。

高木　豊　原田由雄　大窪伸一
岡　敏子　神戸市立須磨高校生徒会

あとがき

会報三十号をお届けいたします。実態調査のアンケートに答えをお寄せ頂きありがとうございました。本会の次の目標に向かって会員一同力を合わせて参りましょう。不規則になりやすい夏、どうかお身体大切に快適な夏をお送り下さい。

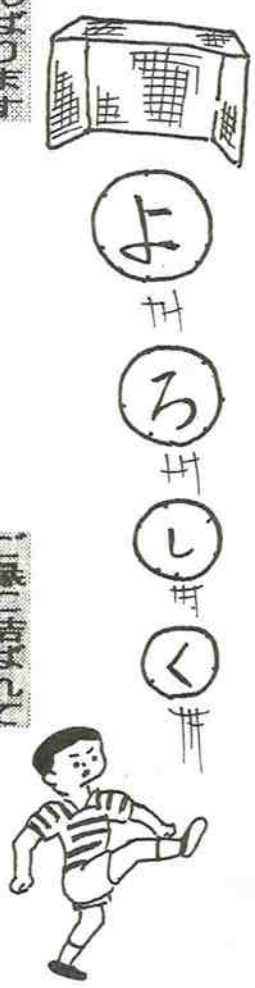
辻野　田村　進元　小泉
金沢　日高　西原　宮脇

がんばります

神戸市立友生養護学校長　石川　敬

東部在宅障害者福祉センターがオープンした記念すべき年に神樹の会に仲間入りさせていただきましたが、校長としてその責務の重大さをひしひしと感じております。子供たちの素直な心、明るい表情を支えに頑張る所存でございます。

これまでと同様に、神樹の会の皆様の絶大なご支援、ご理解をお願いいたします。



ご縁に結ばれて

六甲作業所所長　増田　裕

転勤して十年　また、ご縁がございまして、仲間として働かせていただいております。福祉と教育の接点の仕事が、神戸の私の生活三十年のほぼ全てです。現在はよい指導員・会計さんに恵まれて、（飛車・角）裸の王様も勤まっております。このうえはお役にたって、晩節を汚すことの無いよう、努力いたします。

よろしくご指導下さいませ。合掌